

# 日本体力医学会評議員申請要項

評議員に申請をされたい方は申請書類を評議員会開催2ヶ月前までにご提出下さい。

## I. 申請資格について

下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

---

### ◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定  
平成6年11月18日改定  
平成24年7月20日改定

1. 評議員候補者は、7年以上継続した正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、原著論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていても評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

#### 付 則

1. 体力医学に関係する領域の研究で博士の学位を取得している場合には別途考慮する。
2. 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有する場合には別途考慮する。
3. 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
4. 申請書類の送付先は 一般社団法人 学会支援機構内 日本体力医学会評議員選考委員会とする。

---

## II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請(<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>)からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

## III. 承認までの流れについて

- ① 評議員会開催2ヶ月前（7月中旬頃）までに申請書類を提出いただく。
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 9月理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

### ■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階  
一般社団法人 学会支援機構内  
日本体力医学会評議員選考委員会  
Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）  
E-mail：jspfsm@asas.or.jp

評議員選考委員長 吉岡利忠

## 日本体力医学会定例理事会（2013年11月）議事録

日 時：2013年11月29日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：AP東京八重洲通り 13F B ルーム

議 長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一， 碓井外幸， 小野寺昇， 勝村俊仁，  
川久保清， 栗原 敏， 下村吉治， 鈴木政登，  
武政 徹， 竹森 重， 田中喜代次， 田中宏暁，  
田畑 泉， 浜岡隆文， 山内秀樹，  
吉岡利忠（各理事）， 小林康孝（監事），  
菅原正志（第69回大会長・長崎）

欠席者：荒尾 孝， 大野 誠， 川原 貴， 坂本静男，  
定本朋子， 永富良一， 西平賀昭， 福永哲夫，  
福林 徹（各理事）， 能勢 博（監事），  
田島文博（第70回大会長・和歌山）

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。また、議事録署名人として小野寺、勝村両理事が指名された。

#### 2. 男女共同参画推進委員会委員の追加について（田畑委員長）

提出資料に基づき、以下1名を追加委員として承認いただきたいとの依頼がなされ、承認された。

小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科）

#### 3. スポーツ医学研修会実行委員会委員の追加について（碓井学術委員長・山内委員長）

提出資料に基づき、以下1名を追加委員として承認いただきたいとの依頼がなされ、承認された。

木村 雅子（女子栄養大学 統合生理学研究室）

#### 4. 学会誌販売価格について（鈴木編集委員長）

2014年4月から消費税が5%から8%に上がるのを受け、丸善で販売している学会誌（体力科学・JPF-SM）の販売価格について検討がなされた。審議の結果、来年4月より1冊あたりの販売価格を2,160円（税込）に改定することが承認された。

#### 5. 日本体力医学会健康科学アドバイザーの登録番号について（碓井委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーには現在、一般・名誉・終身（前々回理事会で承認）とあり、それぞれを一意にするため新たに採番したいとの提案がなされ、委員会に一任することが承認された。

登録番号は現在採番されている番号に以下の分類を行い、管理していくこととなった。

一般：先頭に“G-”を付け数字4桁

名誉：先頭に“H-”を付け数字4桁

終身：先頭に“L-”を付け数字4桁

#### 6. 学会賞授与規定および学会賞選定のための内規につ

いて（小野寺総務委員長）

前回理事会で改定された委員任期4年に伴い、平成22年7月16日付で就任した委員の任期は5年間とし、調整することが承認された。

また、委員任期についての記載が授与規定と内規に重複して記載があったため、内規に記載されている委員任期については削除することとした。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 総務委員会（小野寺委員長）

・利益相反運用規程

総務委員会・利益相反委員会・倫理委員会でワーキンググループを作成し、理事会に案を提出する予定であるとの報告がなされた。

・学会ロゴ

以前募集をしていた学会ロゴは2件しか集まらず、決めかねていたため、委員会でロゴの採用についての進め方の案を作成し、次回理事会に提出する予定であるとの報告がなされた。

・招聘の旅費規定

総務委員会・渉外委員会・財務委員会でワーキンググループを作成し、理事会に案を提出する予定であるとの報告がなされた。

・科研費説明会

科研費の説明会に参加したとの報告がなされた。独自の（先進的な）シンポジウムを開催していることや、予算が少ない学会に対して支給する予定との説明を受け、現状本学会では申請が難しいと報告がなされた。

##### 2) 編集委員会（鈴木委員長）

・MEDLINE (PubMed) への申請状況について

今年9月13日の「倫理・利益相反(COI)の宣言文」のHP上での公開を受け、9月17日にJ-STAGEへ代行申請し、10月29日に数点の指摘事項があり、再度の代行申請準備中である旨、報告された。

・Web of Science (Impact factor) への申請状況について

10月29日にWeb of Scienceへの「JPFMSM」誌収録申請の件でトムソン・ロイター社に問い合わせた結果、審査対象の最低年限2年はクリアしたが、現在までに引用されたJPFMSM掲載論文数は4件しかなく、申請しても収録は難しいという回答を得た。収録審査において、一度棄却されると、その後3年間は申請できなくなるので、被引用件数を増加させる工夫が必要である旨、アドバイスを受けたことが報告された。

この件に関して、栗原理事より、日本生理学会では学会大会後に発刊される抄録集を英文にし、それを引用する方法を奨めている旨、紹介された。さらに、田中（宏）理事からも引用件数増加に関するコメントが寄せられた。

・「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況について

投稿状況：2013年9月1日以降、「JPFMSM」誌については8編の新規投稿（内2編海外）、「体力科学」誌については11編の新規投稿があり、11月25日現在、審査中である旨、報告された。

掲載状況：「JPFMSM」誌については、Vol. 3, No. 1（2014年3月25日発行）にInvited Reviews 15編、Short Reviews 3編を予定しており、「体力科学」誌については、Vol. 63, No. 1（2014年2月1日発行）に原著論文7編が掲載予定である。

尚、HP上でも会員へお知らせをしているが、J-STAGEでの公開を「印刷前公開」とし「JPFMSM」誌Vol. 2, No. 4から実施し、印刷後よりも1ヶ月位早い公開が可能となった。「体力科学」誌については、Vol. 63, No. 1からの実施を予定している旨、報告があった。

・「JPFMSM」オンライン投稿開始について

現在、英文誌「JPFMSM」のオンライン投稿審査システム（J-STAGE3）の本運用開始準備中であり、2013年12月中の開始を予定している旨、報告があった。これに関連して、JPFMSM編集事務局（鶴岡印刷）の投稿英語論文対応処理能向上が求められる。このため、鈴木委員長、今泉副委員長が年明けにJPFMSM編集事務局を視察し、編集事務局スタッフと協議したい旨の申し出があった。

3) 学術委員会

・スポーツ医学研修会実行委員会（山内委員長）

例年通り、来年も研修会を開催する方向で進めており、会場も仮予約したとの報告がなされた。

・プロジェクト研究委員会（田中（喜）委員長）

現行の3つの研究テーマを見直したいとの提案がなされ、了承された。また、プロジェクト研究の採択者は大会での報告が義務付けられているが、学会誌への論文投稿も義務付けしてほしいとの提案がなされた。改めて次回理事会で資料を作成し、提案を行うとの報告がなされた。

4) 渉外委員会（勝村理事）

配布資料により下記事項が報告された。

I) ECSS（ヨーロッパスポーツ科学会議）

・2014年ECSS（アムステルダム）交流シンポジウム

ECSS理事会との協議の結果、2014年度以降は、あらかじめ決められたテーマに対して日本体力医学会会員の中からシンポジストの推薦を行うこととなった旨、報告がなされた。2014年度は「健康のための身体活動と運動の指針について」に決定済みであり、今回は公募を行わず、委員会で協議した結果、国立健康栄養研究所の宮地元彦先生をシンポジストとして推薦したとの報告がなされた。次次年度以降は、ECSS理事会と早い時期にテーマを協議し、テーマによって理事会推薦・公募のいずれかを選択する予定であるとの報告がなされた。

・国際セッション

日本体力医学会における国際セッションは例年通り行う予定で、ECSS2014受賞者3名の参加による国際セッションを行うとの報告がなされた。

II) ACSM（アメリカスポーツ医学会）

・若手研究者助成

ACSM若手研究者・大学院生助成（演題採択された学会員に対する旅費助成）を1月末に公募予定である旨、報告がなされた。若手研究者1名（120,000円）、大学院生2名（口頭発表100,000円、ポスター発表80,000円）、応募者が少ない場合は、総額の枠内で変更を考慮するとの報告がなされた。

・Exercise is Medicine (EIM)<sup>®</sup>シンポジウムの提案（長崎大会事務局に依頼予定）

国内臨床系学会から推薦されたシンポジストを交えて、慢性疾患患者に対する運動のあり方、安全性評価の基準等について討議を行う。また、ACSMよりEIM副会長を招聘予定であるとの報告がなされた。

III) AFSM（アジアスポーツ医学会）

・2014年1月11日に香港で理事会が開催され、今年9月のAFSM理事会中止の問題点の確認、活動方針について議論が行われる予定であり、勝村・坂本両理事が出席予定であるとの報告がなされた。

IV) 国内学会交流事業

・ACSM交流事業とあわせて、高血圧学会、糖尿病学会、肥満学会等にシンポジスト派遣依頼をする予定であるとの報告がなされた。

5) 将来構想検討委員会（下村委員長）

配布資料により、以下の提案がなされ、理事会で了承された。総務委員会と連携し、進めていくこととなった。

- ・大会時の学会本部主導型のプログラムを取り入れる。  
各大会実行委員会の負担を軽減すると同時に、大会のコアプログラムとして会員の大会参加を促す可能性もあるとの提案がなされた。
- ・会員管理システムの改善

現在の会員管理システムで出来ること、出来ない事をまずは洗い出し、出来るところから機能追加を行い、有効に会員管理システムを活用していったらどうかと提案がなされた。

6) 広報委員会（武政委員長）

学会HPリニューアルについて、来年の3月末までに公開が出来るよう進めているとの進捗状況が報告された。

7) 男女共同参画推進委員会（田畑委員長）

- ・11月21日に男女共同参画学協会連絡会12期第1回運営委員会が開催され、日本体力医学会がその会議で正式に男女共同参画学協会連絡会に正式加盟したとの報告がなされた。
- ・次回長崎大会で男女共同参画推進委員会主催のシンポジウムを開催したいとの提案がなされた。また、託児所について廉価でお願いしたいとの依頼がなされた。

8) ガイドライン検討委員会（川久保委員長）

配布資料により、9月21日に委員会を開催したとの報告がなされ、禁煙宣言とガイドラインの作成の提案について議論されたとの報告がなされた。禁煙

宣言は作成中であること、ガイドラインの作成の提案については、学会HPに掲載し募集をかけることが理事会で承認された。また、次回理事会でガイドラインの審査の流れについての申合せを提案する予定であると報告がなされた。

## 2. 第68回(東京)大会の進捗状況(栗原第68回大会長)

配布資料により以下の報告がなされた。

- 1) 参加者数 2,012名
- 2) 演題数 830演題
- 3) 女性座長割合 16.66% (過去最高の割合)

## 3. 第69回(長崎)大会の進捗状況(菅原第69回大会長)

10月に第69回大会のHPが開設された旨、及び大会プログラムの準備状況が報告された。

会期：2014年9月19日(金) - 21日(日)

会場：長崎大学文教キャンパス

## 4. 第70回(和歌山)大会の進捗状況(小野寺総務委員長)

配布資料により以下の報告がなされた。

会期：2015年9月18日(金) - 20日(日)

会場：和歌山県民文化会館、ホテルアバローム紀の国

## 5. その他

### 1) 日本医学会の法人化について(下光理事長)

日本医学会から日本医学会連合の定款(案)が届き、配布資料として提出された。12月4日に日本医学会の臨時評議員会が開催されるので、その会議の結果をフィードバックするとの報告がなされた。

## 平成26年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究(以下、プロジェクト研究)は、平成9(1997)年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りました。平成26年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようご案内致します。

### プロジェクト研究の全体像

1. プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力および身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に向けて勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
2. 平成26年度は下記のいずれかの研究テーマに関わる研究課題に限定する。
  - 1) 特定保健指導(メタボリックシンドローム対策)に関する基礎的研究
  - 2) こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究
  - 3) スポーツ科学(体力科学・体力医学)に関する研究
3. 多施設が共同研究を行うことにより、より優れた成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすること。
4. プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
5. プロジェクト研究の申請は、研究代表者(評議員)と数名の発起人が、研究計画書を共同で作成し、プロジェクト研究委員会に提出する。
6. プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査し、採択候補研究を選定する。なお、新規採用可能件数は原則1件である。
7. プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究費を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度

を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得ることとし、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。(注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する)

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者(評議員に限る)と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成26年4月30日までに下記の提出先にお送りください(電子メールによる提出が望ましい)。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

### 研究計画書

1. 研究代表者名(署名捺印してください)、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴(卒業大学または修了大学院)と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
2. 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴(卒業大学または修了大学院)と年月日
3. 研究課題
4. 研究目的(200字以内)
5. 研究期間(3年以内)
6. 研究計画(200字以内)
7. 研究方法(400字以内)
8. 期待される研究成果(200字以内)
9. 研究費の使途(会合費、通信費、印刷代などの費目)に分けて概算を記載してください
10. この研究に関するこれまでの成果(原著、著書などの研究業績)を番号をふって書いてください

提出先 田中喜代次

日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長  
〒305-8574 つくば市天王台1-1-1

筑波大学体育系

電話：029-853-2655 Fax：029-853-2986

E-mail：tanaka@taiiku.tsukuba.ac.jp

## 第25回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

尚、平成23年度より新たな講師陣を加え、1)喫煙や環境汚染および加齢による慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)の運動による改善効果の機序や運動処方、2)降圧剤など薬物治療受診者の運動指導の適否、配慮すべき事項など、3)機能性食品と運動療法併用によるメタボリックシンドローム危険因子改善効果など、4)体組成とくに内臓脂肪の意義およびその測定実習、などの内容を加えました。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成25年12月1日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内秀樹 碓井外幸 鈴木政登 太田真 勝村俊仁 中島幸則 木村雅子

### 1. 会場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

### 2. 日時および研修カリキュラム

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学(神経・筋、呼吸、循環、代謝など)や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、(II)応用コースへと進みます。

平成26年

7月11日(金)

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 9:00~10:30  | 運動と神経・筋                |
| 10:40~12:10 | 運動と呼吸                  |
| 12:10~13:10 | 昼休み                    |
| 13:10~14:40 | 運動と代謝(水・電解質およびエネルギー代謝) |
| 14:50~16:20 | 運動と栄養                  |
| 16:30~18:00 | 運動と循環                  |
| 18:00~      | 懇親会(会費3000円、参加自由)      |

7月12日(土)

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 9:00~10:30  | 運動処方の基礎                  |
| 10:40~12:10 | 生活習慣病の運動処方(肥満・糖尿病・脂質異常症) |
| 12:10~13:10 | 昼休み                      |
| 13:10~17:00 | 救急救命実習(人体模型を用いた実習)       |

#### (II) 応用コース

このコースの講義では、有疾患者または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果データを参考に運動

処方を作成する。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定法などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

#### 8月1日(金)

9:00~10:30 高血圧およびその他の循環器疾患の運動処方  
 10:40~12:10 運動器疾患の運動処方  
 12:10~13:10 昼休み  
 13:10~17:00 運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習）

#### 8月2日(土)

9:00~12:00 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる）  
 12:00~13:00 昼休み  
 13:00~17:00 テーピングおよび筋力トレーニング実習

#### 8月3日(日)

10:00~12:00 修了試験

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得することができます。

修了試験は平成26年8月3日(日) 10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集（最近8カ年400題）正解/解説付（2012年版）」（定価：2,000円+税）がありますので、ご利用下さい。

下記の“9. 申込書送付先および問い合わせ先”へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、「日本体力医学会健康科学アドバイザー」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。定員は各コース40名です。

## 7. その他

健康運動指導士、同実践指導者の登録更新に必要な履修単位60分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

## 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

## 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-18 小石川アーバン4F  
 一般社団法人 学会支援機構内  
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
 電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
 E-mail：jspfsm@asas.or.jp

---

## 第25回日本体力医学会スポーツ医学研修会 仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。（該当する□にレ印をつけてください。）

第25回 基礎コース

第25回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ E-Mail： \_\_\_\_\_

## 訃 報

本学会名誉会員の中野昭一先生（日本体力医学会元理事・東海大学名誉教授・日本体育大学名誉教授）が、去る2014年3月7日にご逝去されました。茲にお知らせし、謹んでご冥福をお祈り致します。

### 第63回東日本整形災害外科学会のご案内

会 期：2014年9月19日(金)～20日(土)  
 会 場：京王プラザホテル  
           〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1  
 会 長：加藤 義治  
           (東京女子医科大学整形外科学教室 主任教授)  
 主 催：東京女子医科大学整形外科学教室  
           〒162-0054 東京都新宿区河田町10-22  
 ホームページ：  
<http://63higashinihon.jtbcom.co.jp/index.html>

プログラム (予定)：  
 特別講演，招待講演，教育研修講演，シンポジウム，  
 一般口演，共催セミナー，ハンズオンセミナー，機器  
 展示，書籍展示  
 演題募集：  
 演題募集期間：2014年3月20日(木)～5月1日(木)正午  
 申込み方法：インターネットでのお申し込みとさせて  
 いただきます。

詳細は、本学会ホームページ (<http://63higashinihon.jtbcom.co.jp/index.html>) の演題募集ページをご覧ください。

参加登録 (予定)：  
 会員/非会員医師                   ¥15,000.-  
 研修医                               ¥2,000.-  
 看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師 他   ¥1,000.-  
 学生                                   無 料  
 上記以外                             ¥15,000.-

運営事務局：〒141-8657 東京都品川区上大崎2-24-9  
 アイケイビル3F  
 (株) JTBコミュニケーションズ  
 コンベンション事業局内  
 TEL：03-5434-8759 FAX：03-5434-8694  
 E-mail：63higashinihon@jtbcom.co.jp

### 第16回日本骨粗鬆症学会のご案内

会 期：2014年10月23日(木)～25日(土)  
 会 場：京王プラザホテル  
           〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1  
 会 長：加藤 義治  
           (東京女子医科大学整形外科学教室 主任教授)  
 主 催：東京女子医科大学整形外科学教室  
           〒162-0054 東京都新宿区河田町10-22  
 テーマ：「骨粗鬆症に対する包括的連携」  
 ホームページ：<http://16jos.jtbcom.co.jp/>

プログラム (予定)：  
 特別講演，海外招待講演，教育講演，シンポジウム，  
 A-TOP研究会，一般演題 (口頭，ポスター)，共催セ  
 ミナー，機器展示，書籍展示  
 演題募集：  
 演題募集期間：2014年4月1日(火)～5月20日(火)正午  
 申込み方法：原則として、インターネットでのお申し  
 込みとさせていただきます。

詳細は、本学会ホームページ (<http://16jos.jtbcom.co.jp/>) の演題募集ページをご覧ください。

参加登録 (予定)：  
 医師・企業                       ¥10,000.-  
 コメディカル                   ¥3,000.-  
 大学院生                         ¥5,000.-  
 初期研修医・学部学生       無 料  
 ※当日登録のみとなります。

運営事務局：〒141-8657 東京都品川区上大崎2-24-9  
 アイケイビル3F  
 (株) JTBコミュニケーションズ  
 コンベンション事業局内  
 TEL：03-5434-8759 FAX：03-5434-8694  
 E-mail：16jos@jtbcom.co.jp



## 第73回日本公衆衛生学会総会のご案内

会 期：2014年11月5日(水)～7日(金)

学会長：武藤孝司（獨協医科大学公衆衛生学講座教授）

メインテーマ：

連携と協働：理念から実現に向けて

会 場：

栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市本町1-8）

宇都宮東武ホテルグランデ（栃木県宇都宮市本町5-12）

ニューみくら（栃木県宇都宮市昭和1-3-6）

ホームページ：<http://www.c-linkage.co.jp/jsph73/>

各種申込期間：

●一般演題登録 2014年4月1日(火)～5月30日(金)

●抄録集事前申込（参加登録）

演題登録あり：2014年4月1日(火)～5月30日(金)

総会参加のみ：2014年4月1日(火)～8月29日(金)

※抄録集の事前申込（参加登録）は、インターネット  
でオンライン登録後、振込期限までにご入金いた  
き完了となります。

※振込期限：演題登録あり 5月30日(金)

総会参加のみ 8月29日(金)

お問合せ先：

株式会社コンベンションリンクージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル

TEL：03-3263-8688 / FAX：03-3263-8693

E-mail：[jsph73@c-linkage.co.jp](mailto:jsph73@c-linkage.co.jp)

## 第35回バイオメカニズム学術講演会 SOBIM2014 in Okayama ～バイオメカニズムの社会還元～

会 期：2014年11月8日(土)、9日(日)

会 場：岡山大学鹿田キャンパス

（岡山市北区鹿田町2-5-1）

主 催：バイオメカニズム学会

<http://www.sugano.mech.waseda.ac.jp/biomech/index.htm>

講演申込締切：2014年7月1日(火)

原稿投稿締切：2014年9月20日(土)

学術講演会事務局：

第35回バイオメカニズム学術講演会事務局

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学医学部保健学科

実行委員長 岡 久雄

TEL&FAX (086) 235-6884

E-mail：[sobim14@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:sobim14@cc.okayama-u.ac.jp)

学術講演会HP：

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/sobim2014/>

## 編 集 後 記

本年は、年初から幸先良く日本人研究者による輝かしい研究成果が世界中を驚かせました。ご存じの通り、理化学研究所の研究者がSTAP細胞（Stimulus-Triggered Acquisition of Pluripotency cells, 刺激惹起性多能性獲得細胞）の作成に成功した、との論文を国際的に非常に評価の高いNature誌に発表しました。この研究成果は、長年の生物学の常識をひっくり返すほどの強烈なインパクトがあり、作成の簡易性や応用範囲の広さから、“将来の有力なノーベル賞候補”、との報道も見かけられました。ところが、その後、“追試に成功した”、という報告が見られないことや、論文の一部に他の論文と似通った箇所が引用なしで存在する、など幾つかの問題点が指摘されています。私は、個人的には、“一刻も早く信頼性の高い研究者や研究所から追試成功のニュースが聞きたい”、と願っております。しかし、研究成果の評価は論文が公開された段階で終わるのではなく、その後の世界中の研究者による厳しい追試や、批判に耐えてはじめて確立されるものなので、STAP細胞の場合も今後少々時間がかかるかもしれません。

科学的に価値の高い研究成果の大部分は“peer review（査読）”という過程を経て世の中に送り出されます。査読は、専門的な知識を有する研究者が、投稿された論文を先行研究の精読も含めて隅々まで読み込み、疑問点や問題点を洗い出し、出版する価値があるか否かについて判断を下す過程です。特に、自然科学の研究領域では“再現性”を念頭に置いて、研究方法が適切に記述されてい

るか、結果の提示に不備や不合理な点がないか、過大な記述や推論がないか、等を精査します。この査読の過程では、個人的なbias（偏向）がかからないように最大限の努力を払います。従って、現実として一本の論文を査読するのに多くの時間と労力をかけなければなりません。これは、雑用が多い我が身にとってはなかなかつらい作業ではありますが、日本体力医学会の発展のためにはやり抜かなくてはならないことだと思っております。

体力科学誌とJPFMS誌の編集委員となってから数年が経過しましたが、査読を快く引き受けて頂いている研究者の方々に感謝を申し上げたいと思います。多くの査読者の方々がbiasを排して非常に適切な評価を下されていると思います。しかし、昨年の編集委員会で体力科学誌とJPSFM誌の採択率が低いことを知りました。日本体力医学会が発行するこれらの研究誌がグローバルに高い評価を受けるためには掲載数をさらに上げる努力が必要となっております。このためには、“投稿する研究者の努力”と“査読をする研究者の努力”、の両輪が上手くかみ合ってはじめて実現するものだと思います。個人的には、査読の過程において判断が難しい場合には、“受理してより多くの研究者の評価を待つ”という結論もあるかもしれないと考えております。今後とも、会員の皆様方のご努力・ご協力をお願いしたいと思います。

小宮山伴与志

---

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.63, No.2

---

#### 体 力 科 学 第 63 卷 第 2 号

平成 26 年 3 月 25 日 印 刷

平成 26 年 4 月 1 日 発 行

|             |   |
|-------------|---|
| 編 集 兼 発 行 者 | 鈴 木 政 登   |
| 発 行 所       | 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階<br>一般社団法人 学会支援機構<br>日本体力医学会  |
| 編 集 事 務 局   | 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1<br>鶴岡印刷株式会社内<br>「体力科学」編集事務局<br>TEL・FAX(共通) 0235-22-3120<br>E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp |
| 印 刷 所       | 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1<br>鶴岡印刷株式会社   |

---